

学生・教職員・関係者の皆様

宮城学院女子大学
学長 長谷部 弘

ランサムウェア感染によるネットワーク遮断措置について

1. 経緯

この度の学内ネットワーク障害により、皆様方にはご不便とご迷惑をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。

2025年5月12日朝、サーバの1つがダウンし、ファイル拡張子、設定内容について書き換えられている事象を確認しました。これを受けて調査を行った結果、ランサムウェアに感染していることが確認されました。その後、他のサーバについて確認を行った結果、他のサーバについても感染が確認されたことから感染が全学院にわたっていると判断し、感染拡大防止並びに情報流出の抑止を最優先に考え、全学院的にネットワークの遮断を行うことといたしました。

2. 影響

学内及び学外との通信を遮断したことにより、各設置学校における教務システム、ポータルサイト (UNIPA) 等の利用ができなくなっております。ただし、本学院WEBサイト及びメールについては利用が可能となっております。

なお、被害については、現在、専門業者による調査を行っておりますので、わかり次第お知らせいたします。

3. 今後の見通し

専門業者をとおして、アクセスログ等の解析を行い、その後、ネットワークの復旧作業を順次行っていくことになります。この作業については約10日程度を要する見込みとなっております。

4. 感染対策のお願い

学内に持ち込むPC (タブレット等を含む) 等へのウィルス対策ソフト導入の徹底が必要となります。まずはウィルス対策ソフトによるPCスキャンを実施してください。また、ウィルス対策ソフトを導入していない場合には、必ず導入してください。

スキャンの結果、ウィルス感染、文字化けや拡張子変更などの症状が確認された場合は、情報システム室に報告してください。ネットワーク復旧後に感染したPC等を接続すると、再度ランサムウェアに感染しネットワークを停止することになります。

5. 授業の運営等について

授業については通常通り実施します。システムに依存する科目についてはできるだけ代替手段を使っていただくなど、今後の対応については継続的に検討をお願いします。

授業に関することを含め大学からの連絡は、大学ホームページ及び構内掲示板により周知します。

6. 最後に

この度のランサムウェア感染に伴うネットワーク遮断措置を講じることとなり、皆様にはご不便をおかけしておりますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

以 上